

和の光

宝塚市立西谷中学校



小さな努力を継続することの意義
～「1.01の法則」、「0.99の法則」～

校長 筒井 啓介

昨年、2学期の終業式で皆さんに話した内容ですが、現2・3年生は覚えているでしょうか。私は常々「努力を積み重ねていくことの大切さ」について話していますが、もうすぐ始まる2学期を前に、もう一度（1年生は初めての話になりますが…）、みなさんに伝えたいと思い、ここに記すことにします。

1を何回かけても、答えは1になります。よって、「1の365乗」は1です。ところが、1が1.01になると、「1.01の365乗」は37.8です。逆に、1が0.99になると、「0.99の365乗」は0.03となります。

$$\begin{aligned} 1^{365} &= 1 && \Rightarrow \text{普段の自分} \\ 1.01^{365} &= 37.8 && \Rightarrow +0.01 \text{の努力} \\ 0.99^{365} &= 0.03 && \Rightarrow -0.01 \text{の怠け} \end{aligned}$$

このことが何を意味しているかというと、例えば、1が通常の自分だとすると、+0.01は努力した自分です。つまり、早起きして英単語や漢字を数個覚えるなど、少しでも努力をすれば、それを毎日（1年間＝365日）継続することで、1年後には37.8倍に成長した自分がいることになります。逆に、-0.01は怠けた自分です。つまり、早起きせずにいつまでも寝ているとか、スマホやゲームで時間を浪費して家で勉強しないとか、ちょっとでもさぼって毎日を過ごすと、1年後にはなんと現在の0.03倍になってしまうのです。0.03倍とは、何もしていないに等しいです。また、37.8は0.03の差は約1260倍にもなります。

ちょっとしたがんばりが、1年後には大きな結果をもたらします。1年後、37.8倍の自分になるのか、0.03倍の自分になるのかは、毎日の「ちょっとした努力の継続」をするか否かで決まることが分かります。

続いて、「勉強とは何か」「努力を継続することの大切さ」について書かれた詩を紹介するので、ぜひ読んでみてください。

勉強には
2つの面がある
一つは
勉強は一週間や二週間
激しくやって、成果が表れる
ものではないということだ

短時間の猛烈な努力などよりも
毎日の一時間の授業や
一枚の課題や
四分の一枚の朝テストを
自分のものにしようと
着実に努力する方が
大切であるし
勇気も必要だ
繰り返すが
毎日の小さな努力の方が
はるかに勇気を必要とする

二つには
勉強というものは
強烈に楽しいものではないということだ
それよりも
課題をやり終えた
小さな満足感
難しい問題が解けたときの
小さな喜び

そんな微か(かすか)なものが
勉強の楽しさの正体なのである

さて、みなさんはここまでの話を読んでどのように感じたでしょうか？ 3年生は、これから中学校卒業後の進路を決定するための大切な時期になります。進路選択の幅を広げるためにも「小さな努力」を今日から始めてみませんか。そして、その努力を継続させていきましょう。1・2年生も1年後・2年後の大きく成長した自分を目指して、ぜひ頑張ってください。



経験は自信への第一歩

第1学年・理科教諭 西浦惟子

私は小さい頃から人前に立って話すことが苦手でした。どちらかと言えば、目立たないようにできるだけ静かにしているタイプでした。人前に立って話すと、とってもドキドキして、じわ〜っと汗が出てくることも…。今でも人前に立つことはあまり得意ではありません。

そんな私が高校生だったときの話を少しだけさせてください。班ごとにテーマを決め自分たちで調べたことをパワーポイントや実演など、自由にまとめて発表するという授業がありました。私たちの班のテーマは数学。ハチの巣や和音など、数学と関係なさそうなものが、実は数学と関わっているんだ！！みたいな内容だったと思います。授業で40人ほどの前で発表することですら緊張だったのに、なぜか私たちの班が850人ほどの全校生の前で発表することになってしまったのです。授業で発表するときも何度も練習していましたが、発表に向けて、さらに何度も何度も練習をして、当日を迎えました。

いざ、舞台に立つと授業の時とは比べ物にならないくらいの緊張でした。あんなに練習したのに頭の中が真っ白でした。パワーポイントを動かすためにポッチとボタンを押す。その動作だけでも何度も手元の原稿を確認し、ドキドキしながら押しました。話すときはもう緊張しすぎて、きちんと話せていたのか覚えていません。全校生の前に立って発表することが決まった時、何で私たちの班なんだ。正直、やりたくないと思いました。ですが終わってみると、今までに感じたことのない達成感と嬉しさを感じていました。

発表の後から進んで人前に出るようになりました！とは言えません。でも、人前に立つことはできるだけ避けようとしてきた私にとって大きな自信になりました。終わってみればやってよかったと思うし、その経験が少なからず今の私をつくっていると思います。私は自分からやったわけでもないし、えらそうなことはいえませんが、やってみようかな？と思ったときや、変わりたいかもと思ったときはぜひ、やってみてください。そのお手伝いをさせて貰えたら嬉しいなと思います。長々とまとまっていないお話でしたが、読んでいただきありがとうございます。



■駄菓子屋さんがやってくる！！

地域の方から「駄菓子屋さんがやってくる！！」の案内をいただき。8月23日（金）の14時過ぎに、会場のCoCoハウスへ行ってみることにしました。会場にはたくさんの小学生と保護者の方がおられました。（中学生も訪問してくれたようですが、入れ違いになってしまいました）西谷にはコンビニや駄菓子屋さんがなく、普段子どもたちはお金を使って自分の手で買い物をする経験がほとんどないので、たくさん子どもたちが駄菓子やジュース、アイスクリームを買って嬉しそうでした。（子どもたちに貴重な機会を与えてくださった地域の皆様には心から感謝しています。）

続いて、CoCoハウスの2階をのぞいて見ると、たくさんの小学生がいました。6年生の男の子が必死に国語の宿題をしていました。私も、少し宿題（ドリル）のお手伝いをさせていただきました。2時間ほどかけて宿題を仕上げ、次は家に帰ってから読書感想文を書くそうです。頑張って仕上げてくれることと期待しています！！この他にもたくさんの保護者・地域のみなさんとお話をすることができました。わずか2時間ほどですが、子どもたち・保護者・地域のみなさんと楽しく過ごすことができました。また、西谷のみなさんの子どもたちや学校に対する期待などを実感できる貴重な機会になりました。

このイベントは24日・25日も開催されます。中学生の皆さん、夏休みの最後に気分転換も兼ねてぜひ、のぞいてみませんか！！（校長 筒井）